

2020年度 1学期 終業式

2020年8月5日

みなさん、おはようございます。

さて、今日で、老上小学校の1学期が終わります。

今年は、皆さんよく知っているように、新しい型のコロナウィルスの感染拡大によって、4月の入学式のあと、2か月が休校になりました。その間、皆さんは、お家の人と協力して規則正しい生活をし、また先生たちからの課題にも頑張って取り組みました。

そして、ようやく6月から学校がスタートしました。早く学校で勉強したいと思っていた人も多かったと思いますが、2か月の学習を取り戻すため、勉強のスピードが速かったり、感染を防ぐために友達との話し合いの時間が取れなかったりして、戸惑った人も多かったことだと思います。

そして、この1学期の間、マスクをつけること、こまめに丁寧に手洗いをする、人との距離を十分にとることなど、いつもと違う生活をしなければならなかったのも、不自由な思いをした人が多かったと思います。でも、ほとんどの人が、そのルールを守ろうと意識できていたように思います。

その中で、毎日の学習に頑張って取り組んだ成果は、ノートやプリント、またつくりあげた作品などに、自分の足跡として残せたのではないかと思います。

このように、がんばった自分をぜひ、自分で認め、自信をもって、1学期に過ごしたことや楽しかったこと、をお家の人にも伝えてほしいと思います。

今日は、1冊の本を紹介します。高濱正伸という人の書いた「メシが食える大人になる 世の中 ルールブック」という、低学年の人でも簡単に読める絵本です。

校長先生は、みなさんに、これから成長していく中で、どんなにしんどいことや困ったことに出会っても、そこで折れてしまわないで、負けない力や、しなやかに立ち直る力をつけてほしいと願っています。この本は、そんな願いを分かりやすく言葉にしてくれています。

たとえば、

「いいことを言うよりも、良い行動をとる。」

「きらい、苦手、と言って自分の世界をせばめない。」

「努力が報われるとは限らない。それでも努力し続ける。」

など、やさしい言葉で書かれていて、少しだけそれに対する説明もあります。

その中で、校長先生が一番心に残った言葉は、

「一番大切なことは誰も教えてくれない、ということを知っておく。」

というところです。大切なことや大事にしていることは、人それぞれ違います。本当に大切なことは何なのかは、自分自身で見つけるしかないのです。

みなさんも、ぜひ自分にとって大切なものを、自分で見つけるという気持ちを大事にしてほしいと思います。

明日から、夏休みに入ります。いつもより短い休みですが、健康や安全に十分気を付けて過ごしてほしいと思います。まだまだ、新型コロナウイルスの感染拡大は続いています。自分や大切な人の命を守るためにも、自分一人ぐらい大丈夫などと思わず、これからも、お互いに気

を付け合って、感染予防に努めてください。

最後に、この夏休みは特に決まった宿題はないのですが、校長先生からの1つの宿題を出しておきます。私たちの周りでは、「勝つ」とか「負ける」とかいうことをよく言います。そこで、「勝つ」ということと「負けない」ということは、どう違うのか考えてほしいということです。

たとえば、けんかをして「勝つ」ということは、その場では優位に立つことになるかもしれませんが、その結果、自分や相手にどんなことをもたらすのか、などを想像してみてくださいと思います。

自然に「勝つ」ことはできませんが、自然災害に「負けない」ように備えることはできるかもしれません。また、今の日本や世界の状況で言えば、「コロナに勝つ」なのか「コロナに負けない」なのか、そしてそれは、世界の人たちが、これからのどんな姿を期待しているのか、などと考えることもできます。新型コロナウイルスに思いがけず感染した人を多くの人が責めることは、自分が「勝つ」ことだけを考えている姿かもしれません。

先ほども言いましたが、本当に大切なことは誰も教えてくれません。自分なりの見通しと答えを、自分の言葉で考え、見つけてほしいと思います。

では、明日からの夏休みを元気で過ごしてください。
これで、1学期の終業式にあたっての話を終わります。